

事業名	褒章費			調査番号	2
細事業名	知事賞交付費	財務コード	036904		
担当部課室	総合政策 部	秘書課 課	総務栄典 担当 (内線)	1052	

事業の概要

実施期間	始期 S26 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)	
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして
	県政の進展、産業の振興、文化の向上その他各般に亘りその行為が特に県下に秀で他の模範となる者個人又は団体	その成績、功績が相応に評価されたことを認識する
結果、何に結びつけるのか	更なる精進の奨励及び地域における公的活動により大きな価値を見出すようにする	
内容	知事賞 県以外の団体等が主催する文化・芸術・スポーツ・産業などの各分野における競技会等において、特に優秀な成績を収めた個人又は団体に対して贈る 感謝状 県が行う事務又は事業に対して特別な協力があつた個人又は団体に対して贈る	

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
活動指標	表彰件数	目標	221	221.0	221.0	221.0	221.0	221.0	
		実績(見込)	234	250.0	234.0	221.0	234.0	221.0	
		達成率	106.0	113.0	106.0	100.0	106.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		561	478	545	476	470	722	722	

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	毎年度、継続的、安定的に知事賞交付申請があり、申請者団体の活動の励みになっているものと考えられ、県政の推進、文化、芸術等各般の振興に寄与している。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い		
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない		
	説明	団体からの申請に基づき実施するため、成果向上はあまり望めない。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない		
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他		
その他	説明			
見直しの必要性	有	過去、承認した内容と同一であり、改めて協議を受ける意義に乏しいにもかかわらず、申請の都度、個別に処理を行っているものについて、執行機関、申請者の負担軽減のため、合理的、効率的な事務処理を行う必要がある。		

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	関東大会等、一定の間隔で定期的開催される事業について、事務処理の簡素化を検討する。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。